

<平成 25 年度>

学校教育部の取り組み実績

教職員課
児童生徒支援室
学務課
教育推進室教育指導課
教育推進室教育研修課

■ 基本方針 ■

平成25年度は、「学習規律の定着」のもと、「学びの連続性の確立」を重点項目とした第Ⅱ期枚方市小中連携事業を推進します。

また、市費負担教員等の配置により、小学校での少人数学級によるきめ細かな指導と中学校での生徒指導体制の再編を図ります。

このことにより、質の高い教育環境づくりを推進し、教育委員会の基本目標である「笑顔あふれる学校園」「学ぶ喜びのある学校園」「信頼される学校園」をめざします。

実績

- ・各中学校区において、義務教育9年間を見据えたカリキュラム（指導計画）の研究・実践や小中連携推進リーダー連絡会等における、研究成果の普及・交流を行うことで小中学校の連携に係る取り組みを推進することができた。
- ・生徒指導主事が各学校における生徒指導の要となることで、関係機関等との連携がより密になるとともに、スクールカウンセラーの活用を更に進め生徒指導問題の解決に努めた。

I 重点施策・事業

◆枚方市小中連携事業

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むため、各中学校区の課題等を踏まえて設定した教科・領域及び研究テーマに基づき、3年間をかけて義務教育9年間を見据えたカリキュラム（指導計画）の実践に取り組みます。

実績

- 以下のことを通じて小中学校の連携を深めることができた。
- ・各中学校区において学習規律の定着を図る取り組みを推進した。

- ・各中学校区での小中合同の研修会を定期的に開催した。
- ・各中学校区で設定した一つの教科・領域についてカリキュラムの実践・研究に取り組んだ。
- ・小中連携推進リーダー連絡会を年間6回開催し、研究成果の発表及び各中学校区の取組の交流を図った。

◆枚方市生徒指導体制充実事業

全中学校で、これまで以上にスクールカウンセラー等との連携を図り、子どもたちの声を受けとめ、いじめの未然防止や早期発見など、きめ細かな生徒指導を重点的に進めます。

このことにより、生徒にとって安全・安心な教育環境づくりを推進し、生徒の豊かな人格形成を行います。

実績

- ・生徒指導主事が生徒指導業務に専念する体制が整い、スクールカウンセラー等と情報交換する機会や子どもとの対話時間が増えた。また、全小中学校で生活アンケート等を実施することにより悩みや不安のサインへの気づきが早期にできるようになり、いじめ等の未然防止、早期発見につながった。
- ・全中学校のうち、いじめ認知件数が、前年度より減少した中学校が19校中15校であった。また、認知総件数が17.7%減少した。（暫定）
- ・不登校生徒数（30日以上欠席）は、前年度より若干の減に留まった。（暫定）
- ・府補助金による消費生活センター事業と連携して、ポータブルゲーム機やスマートフォンの普及における若年層のインターネット接続被害、特にSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）利用等に係る研修等を23小中学校で実施した。（延べ参加人数：児童生徒4,485名、保護者240名、教職員529名）

◆枚方市少人数学級充実事業

平成24年度から開始した、小学校第3学年までの枚方市独自の35人少人数学級編制を継続します。

このことにより、保護者との連携を深めながら、落ち着いた学習環境を確立し、個別指導や繰り返し指導などのきめ細かな指導の充実を図るとともに、支援学級在籍児童との交流や共同学習の充実を図ります。

実績

- ・市独自の少人数学級編制により学級数が増える学校に市費負担の任期付教員を配置した。(24校25名)
- ・質問紙調査を実施し効果検証を行ったことで、保護者との連携を深め、落ち着いた学習環境の確立や、個別指導、繰り返し指導などのきめ細かな指導の充実を図ることができた。

◆枚方市英語教育推進事業

小中学校間の連携のもと、英語によるコミュニケーション能力を育成するため、全中学校に各校1名の外国人英語教育指導助手(NET)を、全小学校に英語が堪能な日本人の英語教育指導助手(JTE)を配置し、小中学校における英語教育を推進します。

実績

- ・全中学校に外国人の枚方市英語教育指導助手(NET)を、全小学校に日本人の枚方市英語教育指導助手(JTE)を配置し、外国語活動、英語教育の充実に努めることができた。

◆教職員の資質・能力の向上

教職員の資質・能力の向上を図るため、経験・職能に応じた研修や教科等の専門性を高める専門研修を実施します。

また、いじめや体罰などの教育課題の解決に向けた研修を充実にします。

実績

- ・教職員研修を年265回実施し、教職員の資質と指導力の向上を図ることができた。
- ・管理職研修や初任者研修等において、いじめの未然防止及び体罰の根絶に向けた研

修を8回実施し、のべ611名が受講した。このことにより、教職員の人権感覚や人権意識の高揚を図ることができた。

- ・各学校において、「枚方市生徒指導マニュアル(体罰防止編)、(いじめ防止編)」を用い、校内での研修を行った。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン(前期)の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
2. まちづくりの学習機会の充実	小学校第3・4学年の社会見学について、関連機関・施設と連携し、学習プログラムを作成する。

実績

- ・学習プログラム作成に向けて、学校の実施状況の把握を行った。
- ・第3学年は、1校あたり2.4回、第4学年は、1校あたり2.6回の学習機会があった。
- ・社会見学として、第3学年が41、第4学年が38の施設等で実施した。

改革課題	取り組み内容・目標
11. 体験学習の充実	社会福祉施設の訪問・交流活動などに取り組む。

実績

- ・高齢者施設や社会福祉施設への訪問・交流を行い、行事に参加する等の体験学習を行った。
- ・車椅子体験・アイマスク体験・介護体験等を行った。

改革課題	取り組み内容・目標
13. 防災教育の充実・防災キャンプの推進	子どもたちが参画する防災訓練「学校防災キャンプ」を推進する。

実績

- ・樟葉南小学校(7月 91名参加)、高陵小学校(8月 93名参加)において、地域と連携した学校防災キャンプを実施した。

改革課題	取り組み内容・目標
19③. 閉園幼稚園施設の活用	公立幼稚園の効果的・効率的な運営・配置をすすめる
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・田口山幼稚園に駐車場及び駐輪場、蹉跎西幼稚園に駐輪場を設置し、通園距離が遠くなる園児の通園手段を確保することができた。 ・殿山第二幼稚園・津田幼稚園は留守家庭児童会室に、桜丘幼稚園・樟葉南幼稚園は、保育所や地域子育て拠点施設に活用することを決定した。 	

改革課題	取り組み内容・目標
39. 業務委託の拡大	交通専従員・交通指導員の業務内容の整理、配置基準の見直しを行い、業務委託の拡大を進める。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・交通専従員等3名が活動を終了する場所については、委託による配置に転換した。 	

改革課題	取り組み内容・目標
44. 施設の使用料の見直し ④教育文化センター	教育文化センターについて、平成26年度中の有料化をめざす。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年4月からの施設利用の有料化を決定した。 	

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
「いじめ専用ホットライン」推進事業	引き続き電話相談を行い、いじめ等の早期発見・早期対応に努める。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題等の早期解決の糸口として電話相談を受け、適宜、学校と連携して早期解決に努めた。(電話相談：37件) 	

事務事業	取り組み内容・目標
奨学金事業	運用の改善について検討を行う。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・国が、高校生等奨学給付金制度を創設し平成26年度より支給することを決定したため、平成26年度の募集について選定基準の見直しを行った。 	

事務事業	取り組み内容・目標
学校版環境マネジメントシステム事業	平成23年度を測定基準年とし、学校園において、省エネルギー、光熱水費の削減に取り組む。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・75校園がS-EMS実践校園の認定を受け、各校園が具体的な取組方法を掲げ、光熱水費の削減に向けて取り組んだ。 	

事務事業	取り組み内容・目標
基礎学力向上プロジェクト事業	小中学校において、朝学習、授業、放課後学習等における自学自習力支援システムの有効活用を継続する。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校で放課後自習教室を実施した。朝学習、授業においても自学自習力支援システムの活用を図った。 ・研究指定校による研究発表会（1月30日）を行った。 	

事務事業	取り組み内容・目標
「まなびング」サポート事業	大学生のサポーターと合わせて地域人材活用の拡充に取り組む。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度は、枚方市立小中学校で175名の大学生・元教職員等が、まなびング・サポーターとして活動した。 	

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口・電話対応	効果的な部内研修を実施し、今後も丁寧な対応に努める。
実績	・窓口・電話対応があるすべての課において、応接について職場研修を行うなどして丁寧な対応に努めた。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆子どもたちが生き生きと学校生活を送ることができるよう、いじめや非行などへの対応が重要かつ緊急との判断から、全中学校で生徒指導体制を再構築します。（4600万円）

実績

- ・中学校 19 校のうち、7 校に任期付教員を配置し、残りの 12 校には非常勤講師を配置して、生徒指導主事が生徒指導業務に専念できる体制を整えた。

- ◆英語で自分の考えや意見を伝えられる生徒を育成するために、府が実施する「使える英語プロジェクト事業」の補助金を活用し、「読む」「書く」「聞く」「話す」をバランスよくはぐくむ授業の実践と家庭学習の充実をめざして研究を推進します。

実績

- ・8 中学校区 24 小中学校での外国語活動・英語科の公開授業を年間 37 回実施し、具体的な実践の研修を通じて、教員の指導力の向上を図った。
- ・ICT 教育関連機器等を購入し、授業実践に役立てた。

その他の実績

- ・自学自習力支援システムのコンテンツ契約方法や管理コストの見直しにより約 280 万円の経費を削減した。

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆学校教育部の組織目標である質の高い教育環境づくりの充実をめざすため、目標の共有化を図り、部内の緊密な連携による効果的な組織運営に努めます。

実績

- ・定期的に各課長を招集し、各課の事業の進捗状況や課題などを共有するために部内会議を開催した。

- ◆平成26年度の中核市移行に向け、本市独自の教職員研修計画を策定し、様々な課題に対応するための教職員の資質・能力の向上を図ります。

実績

- ・市の教育課題や教育施策に対応した研修を実施できることなど中核市移行の利点を生かし、教職員の資質・能力の一層の向上を図るため、平成 26 年度教職員研修計画を策定した。

- ◆学校と教育委員会の連携をさらに深め、多様化・複雑化する教育の課題に対して、今後も適切に対応していきます。

実績

- ・保護者対応等学校が抱える課題に対して学校問題サポート員や弁護士の専門的な立場から助言を受けることで適切に対応することができた。

V 広報・情報発信

- ◆ホームページ・情報発信の充実

学校園や教育委員会主催の特色ある取組をホームページに掲載するなど、「教育文化都市ひらかた」を広く情報発信します。

また、各学校園が日常の教育活動などをホームページなどに掲載するなど、保護者、市民への情報発信に努めます。

実績

- ・教育委員会や学校園のホームページで教育委員会主催行事や学校園の取組を掲載し、情報発信に努めた。